

「ともに暮らす東志賀」

ささえあいたより 第80号

令和6年3月12日

活動報告

令和6年2月1日～令和6年2月29日

東志賀学区福祉推進協議会
地域支えあい事業委員会

生活支援事業

- ・ゴミ出し : 3件
- ・給湯器の点検確認 : 1件
- ・屋根修繕工事の業者への依頼確認 : 1件
- ・家賃支払い、法務局供託の付き添い : 1件

小計 6件

認定事業

- ・見守り(高齢者) 7件
- ・登下校の見守り(児童)
- ・子育て広場 : 7日
- ・認知症カフェ(なもなも) : 9日
- ・子ども食堂 : 22日(食堂) 19日(フードパントリー)
- ・子ども居場所づくり : 3日
- ・ふれあいサロン : 9日 28日

小計 15件 合計 21件

困りごとのある方、気楽にご連絡ください

毎月のように発行しています「ささえあいたより」の報告欄にありますように、多くの生活支援事業が東志賀学区でなされていて、本年度で100件あまりにのぼっています。しかしながら週2回、開いている相談窓口や電話相談、周辺の方々からの連絡だけに頼っているばかりでは、困りごとの実数がかかまわらないのではとの懸念を抱いています。

日本人特有の奥ゆかしい、遠慮の精神文化は大事にしなければならないと思いますが、自分たちでは何ともできないことがあれば、是非連絡を頂きたいと思います。いつしか支える、支えられるという立場をこえた関係を築き上げ、地域に「共助」と「互助」の活動を拡げるためにも。



日頃のささえあい活動にご協力を: 特に若手の方々に

「ご近所ボランティア」に登録されている方々は、東志賀学区内では約100人の数にのぼります。「地域支えあい事業」を行っている学区の中では抜きん出た数を誇っています。しかしながら高令者が多く、活動に限界が出始めています。シルバー人材の活用も大事なことですが、担い手として徐々に若手に委ねて行き、バトンタッチしていく努力も、活動の継承のために必要と考えます。若手の方々、特に子育てが一段落し始めた年代層の参加を熱望しています。



編集後記にかえて: コーディネーターのつとめ

支えあい事業のマネジメントを担うのは「ボランティア・コーディネーター」という役目で、東志賀学区には10人程います。どなたに活動を依頼するかの判断や、社会福祉協議会などの公的組織との連携を図っています。ボランティアへの活動依頼については、ついコーディネーターだけで行ってしまったり、頼みやすい方に何度も依頼することが多く、支えあいの活動を地域の隅々にまで拡げるという使命を忘れがちになっていくことが反省点です。皆様のお力を活かし良い打開策を見つけていくつもりです。

(谷口博子コーディネーター)



今まで発行した「支えあいたより」を
こちらからご覧になれます



東志賀学区のホームページをこちら
からご覧になれます

ちょっとした困りごとは相談窓口 お電話でも受け付けいたします

開設日時: 毎週水・金曜日 9:30~12:00

☎ 080-3651-7435

相談窓口: 東志賀コミュニティセンター



認知症カフェ なもなも

第2金曜日 午後2時~4時

場所: 東志賀コミュニティセンター

連絡先: ☎ 090-3587-2270 駒田

